

食べない子の食事

- 1、咀嚼をしない子の場合（母親の咀嚼行動を見ていない可能性あり）
- 2、最初の一步は離乳食から始めてみる。
- 3、好みの味の付けた物へと進む。
- 4、出来たら次に歯ごたえのある物を口に運び食べ方を見せながら一緒に食べる。
- 5、引き続き無理なく苦手な食物は少しずつ食べているところを見せながら子どもの好みの味付けをしたものを口に入れて見る。
- 6、この時、養育者の行動は余裕の気持ちをもつ事が必要。
- 7、好きな食べ物への異常な過食も気になる事もあるので、子どものお腹や様子を見ながら少しずつ改善の方向を見つけていく。
- 8、朝昼夜の3食の工夫が養育者の悩みになる可能性が多い。
- 9、食事の時間の気分や雰囲気を変えた対応を必要。
- 10、 必要条件として、出来たら必ず褒めて、やる気や克服の達成感を感じて貰う。